

せいしよ し と げんこうろく  
《聖書》使徒言行録 2:14, 22-28

きゅうやくせいしよ かみ すく けいかく  
旧約聖書において、神の救いの計画を  
の さいぎ  
たんてきに述べているのは、祭儀におけ  
しんこうこくはく  
る信仰告白です。

「わたしの先祖は、滅びゆく一アラム  
びと ひと ともな  
人であり、わずかな人を伴ってエジプト  
くだ きりゅう  
に下り、そこに寄留しました。しかしそ  
つよ かず おお おお こくみん  
こで、強くて数の多い、大なる国民に  
なりました。エジプト人はこのわたした  
いた くる じゅうろうどう か  
ちを虐げ、苦しめ、重労働を課しました。  
せんぞ かみ しゅ たす もと  
わたしたちが先祖の神、主に助けを求め  
しゅ こえ き  
ると、主はわたしたちの声を聞き、わた  
う くる ろうく いた こ  
したちの受けた苦しみと労苦と虐げを御  
らん ちから みて みうで の  
覧になり、力ある御手と御腕を伸ばし、  
おお おそ き せき  
大なる恐るべきこととするしと奇跡を  
もち わたしたちをエジプトから導き出  
ちみび だ  
し、この所に導き入れて乳と蜜の流れる  
ところ みちび い ちち みつ なが  
この土地を与えられました。わたしは、  
しゅ あた ち みの はつもの いま  
主が与えられた地の実りの初物を、今、  
も まい しんめい  
ここに持って参りました。」(申命記26:  
5-10)

しんこうこくはく ほか  
このような信仰告白は他にもしばしば  
つた よげんしゃ  
伝えられています。預言者たちは、こう  
かみ けいかく  
した神の計画にもかかわらず、イスラエ

たみ かみ わす かみ  
ルの民が神を忘れてしまったので、神に  
た かえ たみ つ  
立ち帰るようにと民に告げます。そして、  
しょうらい かみ すく やくそく  
将来、神からの救いを約束します。

しんやくせいしよ きゅうやく さいぎ しん  
新約聖書では、旧約の祭儀における信  
こうこくはく し と せっきょう つた  
仰告白のかわりに、使徒たちの説教が伝

えられています。ここで、イエスの死と  
ふっかつ かみ けいかく こと せつ  
復活は神の計画によるものである事が説  
めい  
明されています。イエスこそは、神から  
つか もの  
遣わされた者であり、イエスによって、  
すく じつげん の  
救いが実現したと述べています。それは、  
せんぞ だっしゅつ けいけん  
イスラエルの先祖がエジプト脱出を経験  
こと の しんこうこくはく  
した事を述べている信仰告白にかわるも  
のです。

し と て がみいち  
コリントの信徒への手紙一では、「キ  
せいしよ か  
リストが、聖書に書いてあるとおりのわた  
つみ し つた  
たちの罪のために死んだ」(15:3)と伝え  
られていました。使徒たちの理解によると、  
かみ すく けいかく たい  
神の救いの計画に対して、イスラエルの  
たみ こた  
民が答えきれなかったので、イエスが神  
つか ひつよう  
から遣わされる必要があったのです。

し と かみ すく けいかく ひとびと  
使徒たちは、神の救いの計画を人々に  
し やくわり あた かん  
知らせる役割を与えられていると感じて、  
き けん ふくいんせんきょう はげ  
危険をおかしてでも福音宣教に励んでい  
きました。

ふっかつせつだい しゅじつだい ろうどく ねん たきの  
復活節第3主日第1朗読A年(滝野)